

申5号 安全・安定輸送の確保を目指し、職場の不安解消を求める申し入れ

JR東労組本部は、18春闘において情勢認識を見誤ったことを反省し、健全な労使関係を築くための新執行体制をスタートさせました。そして、新生JR東労組として、施策に正面から向き合い、職場からの声に基づいた議論を重ねてきました。そのような中、安全・安定輸送を脅かす列車妨害が相次ぎ、悪質なマスコミは内部犯行説まで流布しています。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。鉄道事業者として、より安全で安定した輸送の確保を労使で創り出すことにより、大会の成功に向けて貢献すべきだと考えます。そのためには、健全な労使関係の構築を基に、風通しがよく安心して働ける職場が求められています。

そのような中で、職場では試験や昇進、転勤などを理由にした脱退懲慥とも捉えられる事象が発生しており、不安な気持ちを抱えたまま業務に就いているとの悲鳴とも言える声が上げられています。

労使が真摯に向き合い、職場の不安を解消し、安全・安定輸送をつくり出すために、8月2日申5号を申し入れました。今後も、職場と支部、地本、本部が連携して、たたかいを創りだしていきます！

申し入れ項目

1. 2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、職場の不安を解消し、安全・安定輸送を創り出すことを労使の共通認識とすること。
2. オープンショップ制の原則に則り、所属組合によって試験・昇進・転勤などについて差別を行わないこと。
3. 組合加入を理由とした不利益な取扱いを行わないこと。また、加入にあたっては、組合の運営に介入しないこと。

安心して働ける職場環境を職場からの運動で創りあげよう！